

アジア太平洋無形文化遺産研究センターアソシエイトフェローの公募について

アジア太平洋無形文化遺産研究センター

平成24年8月27日

このたび当センターでは、任期付職員(アソシエイトフェロー)を公募することになりました。

応募を希望する方は、写真を貼付した別紙履歴書ほか必要書類を送付してください。

1. 職種	アソシエイトフェロー
2. 勤務場所	アジア太平洋無形文化遺産研究センター (大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁大仙公園 堺市博物館内)
3. 採用予定人数	若干名
4. 着任時期	採用決定後、可能な限り早期(応相談)
4. 雇用期間	3年(任期の延長あり(通算して最長5年))
5. 分野	文化遺産保護や文化政策に関する途上国支援(人材育成・教育、研究コーディネイト)、 情報処理・アーカイブ
6. 職務内容	平成23年10月に大阪府堺市に開設した国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センターのスタッフとして、以下の仕事に従事します。 ①アジア太平洋地域における無形文化遺産の保護に関する調査と研究のコーディネーターとしてのアレンジメント関係 ②WEBサイト・報告書の作成・編集業務(主として英文による) ③資料データのアーカイビング ④国際研究集会の企画・開催準備・運営に係る事務全般及び国内外との連絡調整
7. 勤務様態	①勤務日 月～金 ②休 日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ③勤務時間 始業9:00～終業17:00(1日7時間) 但し、状況により始業・終業時刻が変更になることもあります。 休憩時間 60分(12:00～13:00) ④休暇等 年次有給休暇有 ⑤その他休暇 夏季休暇・忌引等(有給) *超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構WEBページにてご覧いただけます。URL: http://www.nich.go.jp/)
8. 給与等	①年俸(※②を含まない額です。)2,235,444円 年俸は採用者の学歴・職歴に応じ加算されます。 年俸の12分の1の額を、毎月17日に支給します。 ②その他手当等 ○必ず支給される手当 年俸に加え、地域手当が毎月、賞与が6月、12月に支給されます。 ○該当時に支給される手当 通勤手当(月 55,000 円上限)、住居手当(月 27,000 円上限) 扶養手当等 ③保険等 雇用保険、健康保険・厚生年金加入 *詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構WEBページにてご覧いただけます。URL: http://www.nich.go.jp/)
9. 応募資格	応募資格は以下のとおりです。 ①大学院で以下に関するいずれかの領域を専攻し、修士以上の学位を有する者。 文化遺産の保護、情報学、文化政策、途上国教育・開発学 ②研究コーディネーターとして主に以下の実務が可能な者。 英語による文書作成・コミュニケーション 国内外の専門家によるフィールド調査の企画、報告書の編集 研究集会のアレンジメント ③ロジスティック関連の実務能力を有する者。

	④パソコンの操作でワード、エクセル、パワーポイントなどの文書作成が可能である者。 ⑤心身ともに健康である者
10. 選考方法	①第1次選考 書類選考を行います。 ②第2次選考 第1次選考合格者に対して以下の試験を実施します。 ・筆記試験(実務に関する英作文) ・面接試験
11. 採用予定者の決定及び発表	第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。選考結果は、第1次選考については可否にかかわらず本人宛に文書で通知します。
12. 提出書類	①履歴書(様式1 PC作成可、氏名欄は自筆押印、写真貼付、A4片面印刷。) ②研究業績・事業実績調書(様式2 PC作成可、A4片面印刷。) ③業績等の別刷 業績等において印刷物がある場合には、そのコピーを一部提出すること。 冊子不可(冊子の場合は必ずA4片面にコピーしたものを提出すること。) 修士・博士論文等提出時は、日本語で4,000字以内のレジュメを添付すること。 ④卒業(修了)証明書、もしくは卒業(修了)証書のコピーしたもの (大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること。) ⑤返信用封筒 可否通知の送付先住所、氏名を記入したものを同封してください。 (応募書類の入るサイズの封筒として下さい。切手貼付不要。) *ご提出いただきました書類は③を除き返却いたします。また、ご記入・ご提出頂きました個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。(当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。)
13. 応募方法等	①応募締切 <u>適任者が集まり次第、募集を締め切ります。</u> *当選考案内は独立行政法人国立文化財機構 WEB ページからダウンロードが出来ます。(URL:http://www.nich.go.jp/) * 応募書類は、封筒に「アソシエイトフェロー(無形文化遺産)応募書類在中」と朱書きし、送付(受領の確認できるもの)又は持参により提出してください。 ②提出先・問合せ先 独立行政法人国立文化財機構本部事務局総務企画課人事担当 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL 03(3822)2438

[illegible]

区分	年	月	資 格 等
資 格	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現在の勤務先

ふりがな	
名 称	
所在地 (〒 —)	
Tel () —	
職種及び職務内容(具体的に)	

自己紹介欄

志望動機	
専攻(専門分野)及び所属学会等	
主要論文等テーマ	
英語 TOEIC (点)(取得年月) その他 ()	他の外国語
健康状態	趣味・スポーツ
どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？ 該当の□にレを記入してください。 ☐ 国立文化財機構のウェブサイト ☐ JREC-IN(研究者人材データベース) ☐ 大学及び職場等において案内 ☐ その他()	
その他	

履歴書について

- (1) パソコンによる入力可とします。ただし氏名欄は自筆押印ください。なお、自筆の場合は、万年筆又はボールペン(黒色又は青色)で記入してください。
- (2) 年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書いてください。
- (3) 写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4) 職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5) 語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6) 他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。(入門・初級) (英語の場合、目安として、TOEIC370点程度若しくは英検3級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級) (英語の場合、目安として、TOEIC520点以上若しくは英検2級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級) (英語の場合、目安として、TOEIC730点以上若しくは英検準1級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級) (英語の場合、目安として、TOEIC820点以上若しくは英検1級程度)

例 英語(123④5) 他の外国語(独語 4)

- (7) 英語検定、中国語検定、IOEFL、TOEIC等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。

例 英検準1級(H6) IOEFL450点(H8)

- (8) ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9) メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、メールアドレスを持っている場合は、記入願います。

(様式 2)

研究業績・事業実績調書

○印	テーマ	内 容	氏名 発表等の時期及び方法	共同研究者

記 入 要 領

- 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
イ 学会誌 ロ 公刊図書 ハ 機関紙・内部報告 ニ 口頭発表 ホ 展覧等
ヘ 研究調査 ト 教育事業実績 チ その他
- 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。
- 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。